

工事説明書 IHクッキングヒーター





| | |
|-----|--|
| 型式名 | トッププレート幅60cm TBH-43TAW・TBH-43AW・TBH-43D・TBH-43S |
| | トッププレート幅75cm TBH-43HTAW |

設置フリータイプ










安全上のご注意





- 設置工事の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しく工事してください。
- ここに示す注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

絵表示の詳しい説明は下記のとおりです。

| | | |
|--|-----------|---|
|  | 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。 |
|  | 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される』内容を示しています。 |
|  | | この絵表示は、してはいけない『禁止の行為』内容です。 |
|  | | この絵表示は、必ず実行いただく『強制指示の行為』内容です。 |

設置工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

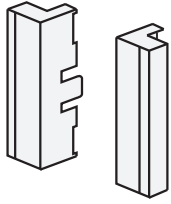
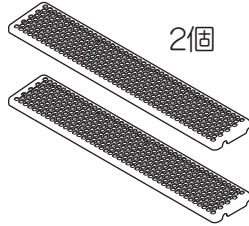
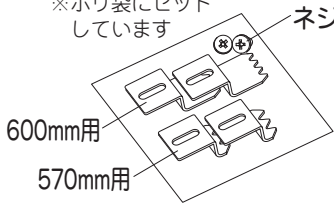


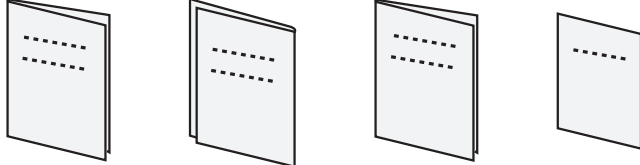
| | | |
|--|---|--|
|  警告 |  | 設置工事はお買い上げの販売店または専門業者に依頼すること <ul style="list-style-type: none">● 設置工事に不備があると、水濡れや感電、火災の原因になります。 |
| |  | 設置工事は、工事説明書に従い確実にすること <ul style="list-style-type: none">● 設置工事に不備があると、水濡れや感電、火災の原因になります。 |
| |  | 設置工事は機器の重量に十分耐える所に確実にすること <ul style="list-style-type: none">● 強度不足や取付が不完全な場合、機器の落下や転倒によりけがの原因になります。 |
| |  | 組み合わせる電気オーブンレンジは指定機器を使用すること <ul style="list-style-type: none">● 指定以外で使用すると、機器の過熱等事故の原因になります。● 必ず電気オーブンレンジの工事説明書に従ってください。 |
| |  | 電源は200V・30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置すること また、電源プラグ(250V-30A)に合った専用コンセントを単独で使用する <ul style="list-style-type: none">● 電源回路の容量不足や設置工事不備があると感電、火災の原因になります。 |
| |  | アース工事を必ず行うこと アース工事はD種接地工事が必要です <ul style="list-style-type: none">● アースが不完全な場合には、感電の原因になることがあります。 |
| |  | 設置工事部品は、必ず付属部品または、指定の部品を使用すること <ul style="list-style-type: none">● 異なった部品を使用すると、機器の落下や転倒、水濡れ、感電、火災の原因になります。 |
| |  | 絶対に分解・修理・改造は行わないこと <ul style="list-style-type: none">● 火災、けが、感電の原因になります。 |

| | | |
|--|---|--|
|  注意 |  | トッププレートに衝撃を加えない <ul style="list-style-type: none">● ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因になります。 |
| |  | 試運転中は、トッププレートやグリルとびらなど高温部に触れないこと <ul style="list-style-type: none">● やけどの恐れがあります。 |
| |  | ワークトップの材料は、耐熱材料の物を使う <ul style="list-style-type: none">● 熱硬化樹脂高圧化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の物。 耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。 ※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。 |



同こん部品・付属品

■包装材料を取り外し、下記の同こん部品および付属品が同こんされていることをご確認ください。


| サイドモール | 吸・排気口カバー | 前固定金具 |
|---|--|---|
| 2個  | 2個  | ネジ 2個 前固定金具 4個 ※ポリ袋にセット しています  ネジ 600mm用 570mm用 〔キャビネット開口幅600mm用と全長が短い570mm用の2種類あります。〕 |
| 天ぷらなべ | グリル焼網 | 取扱説明書(保証書付)・工事説明書・クッキングブック・お客様ご相談窓口一覧 (機種によって異なります) |
| 1個  | 1個  (注)品番により焼き網の形状が異なります。 | 各1冊  |

1 電気工事及び接地工事

- 電気工事は、必ず「法的有資格者」が行ってください。
- 電気工事や接地工事は「電気設備技術基準」等に準じてください。

■電源はブレーカー付き単相200V・30Aの専用回路を設けてください。
・三相200V（動力電源）は使わないでください。（故障の原因になります。）

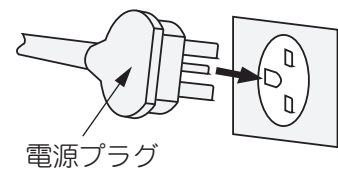
■漏電しゃ断器は必ず設置してください。
・漏電しゃ断器：定格電流30A、感度電流30mA

■電源コンセントを設置してください。
・単相3線式定格250V・30A（一極接地用）
・電源プラグに合った埋め込みコンセントを使用してください。
推奨コンセント：明工社製 ME8586
松下電工製 WF3630B 形状 

お願い

- 電源コードがよじれたり、負担がかからないように電源コンセントの向きに注意してください。
- 電源コード（電源電線およびアース線）は、電源プラグを外したり切断して直結しないでください。
漏電やショートによる感電・発火の原因になります。

(コンセントへの差込みかた)



・電源コンセントの取り付け位置は『3システムキッチンとの関係寸法図』を参照ください。

■アース工事を必ず行ってください。（D種接地工事）
・コンセントの一極接地用に配線してください。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースには絶対に接続しないでください。

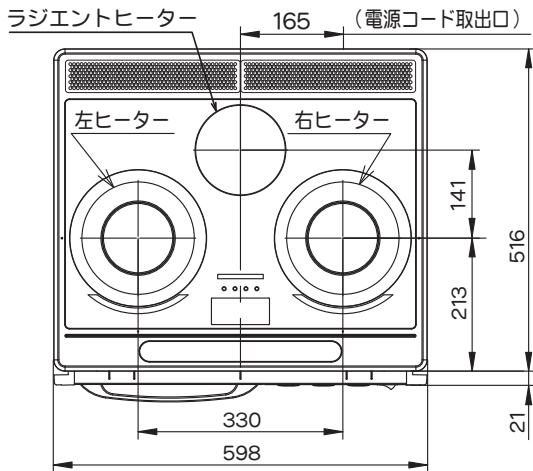
■屋内配線用電線は、線径φ2.6mm以上のものを使用してください。

2 製品外形寸法図

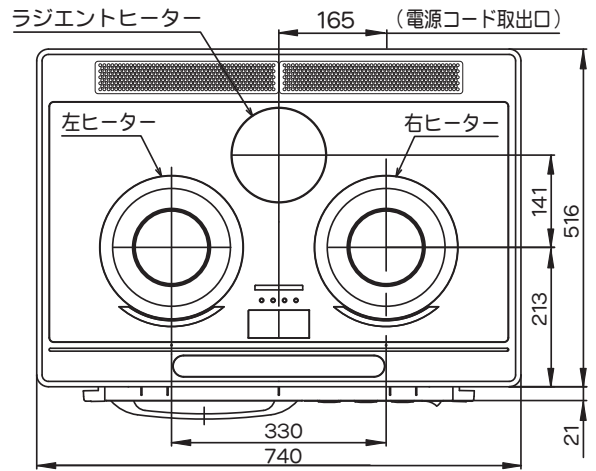
(注) 品番によりデザインが異なります。

(単位: mm)

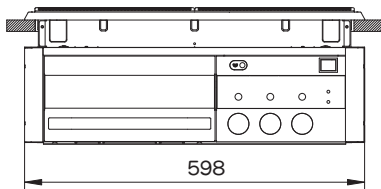
【平面図】 トッププレート 60cmタイプ



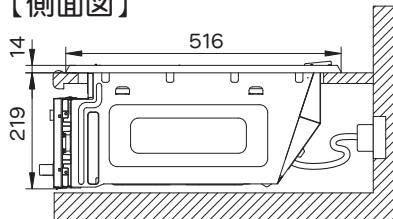
【平面図】 トッププレート 75cmタイプ



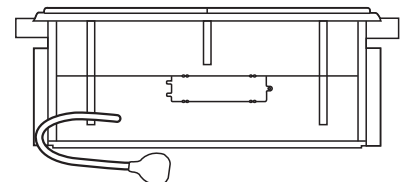
【正面図】



【側面図】



【背面図】

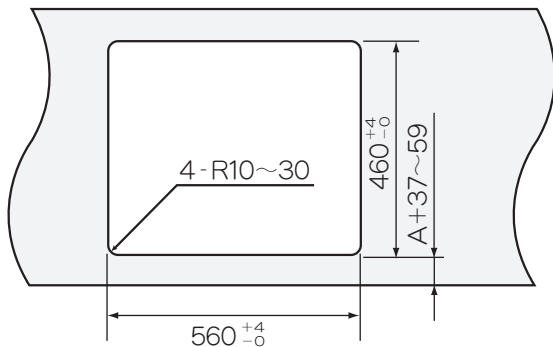


電源コード長さ約600

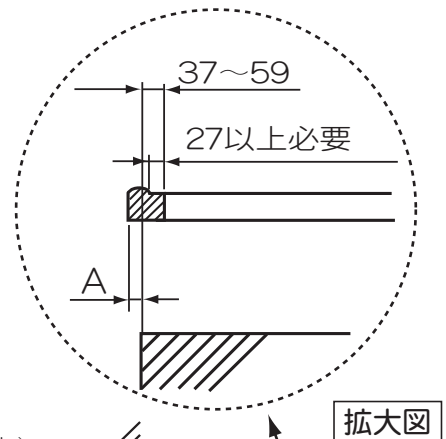
3 システムキッチンとの関係寸法図

[取り付け穴: ワークトップ切り込み寸法]

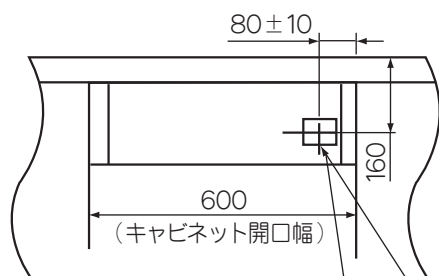
(単位: mm)



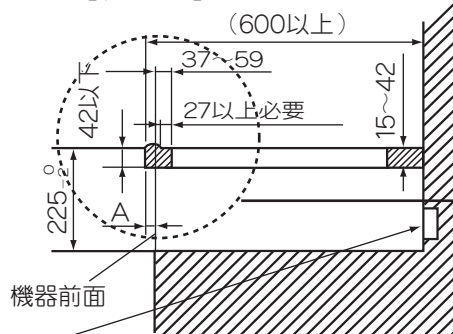
【正面図】



【拡大図】



【側面図】



(注) A寸法はワークトップの前面とキャビネット前面(器具前面)との差です。

キッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。埋め込みコンセントを使用してください。



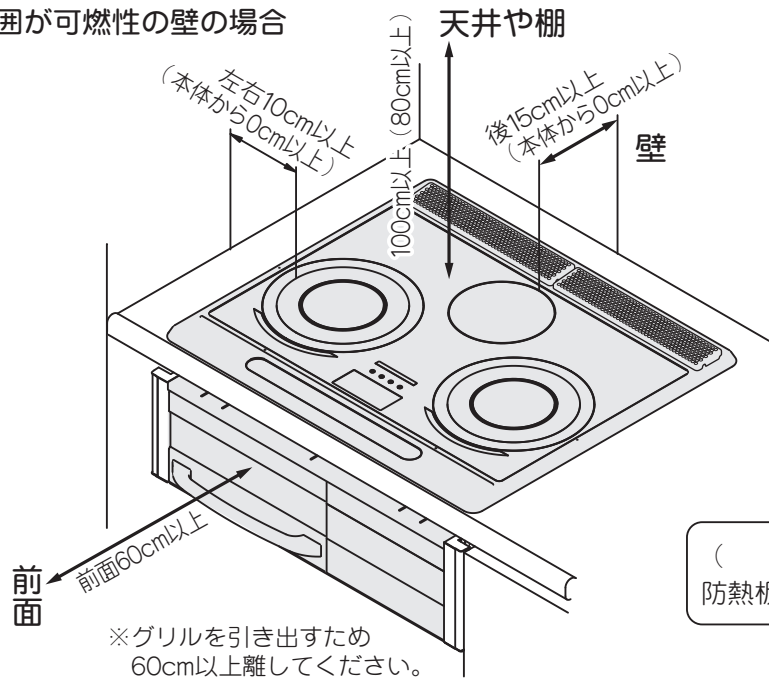
コンセントの向きに注意してください。(アース端子を左側に向けて取り付けてください。)

4 設置場所の確認

■壁からの距離

- 器具は火災予防上、可燃物（木壁・棚）との間を側方10cm以上、後方15cm以上、上方100cm以上離してください。また、器具の前面は60cm以上離してください。
不燃性の壁の場合はその限りではありません。

周囲が可燃性の壁の場合

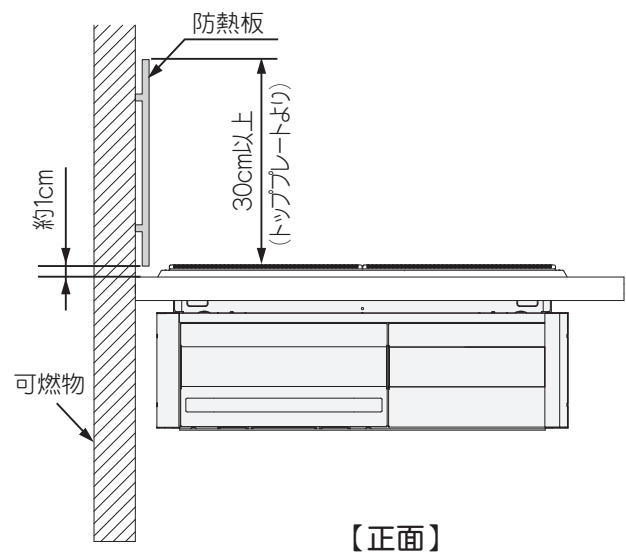
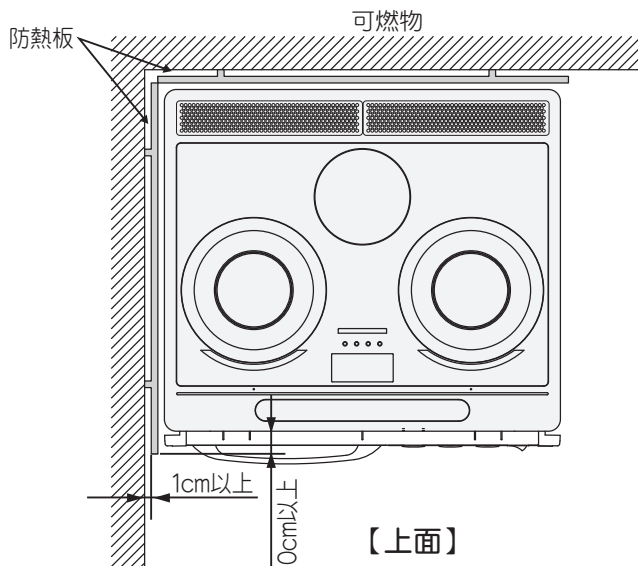


[消防法 基準適合 組込形]

| 場所 | 離隔距離 (cm) |
|----|-----------|
| 上方 | 100 |
| 側方 | 10 |
| 前方 | — |
| 後方 | 15 |
| 下方 | 0.5 |

()内は不燃性の壁または、防熱板を取り付けた場合。

可燃性の壁から、上記の距離を離して設置できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。



⚠ 注意



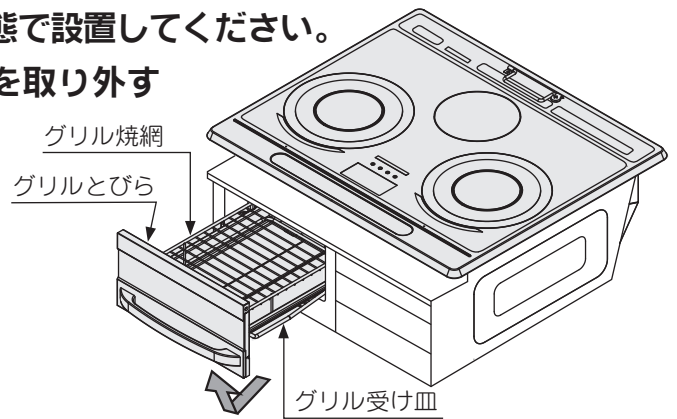
- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部が接触しないようにするか、または、器具の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。
- 本体をタイルやモルタルで塗り込まないようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。

5 設置

■同こん部品の吸・排気口カバー等を外した状態で設置してください。

■グリルとびら・グリル受け皿・グリル焼網を取り外す

- グリルとびらの止めテープをはがし、グリルとびらの取っ手を持って止まるまで手前に引き出し、そのまま斜め上に引き上げる。



オープンと組み合わせる場合

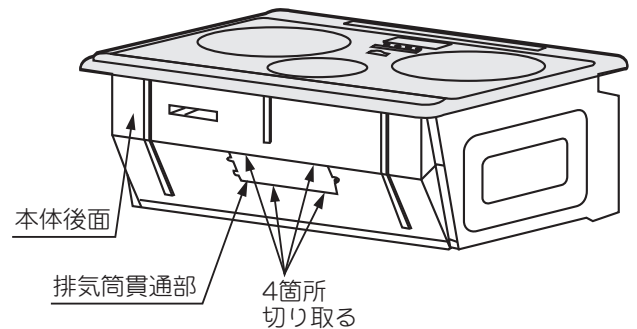
■本体後面に排気筒貫通穴をあける

- 本体後面の4箇所をニッパ等で切り取り、穴をあけてください。
(取り外した排気筒貫通部は不要です。)

⚠ 注意



IHクッキングヒーター単独設置の場合は、排気筒貫通穴はあけないでください。



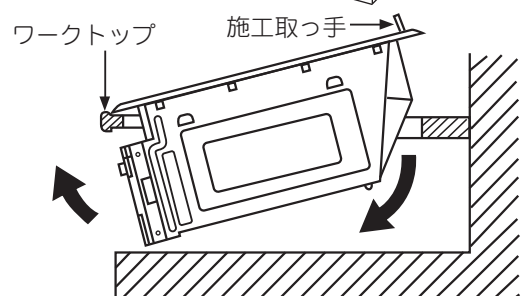
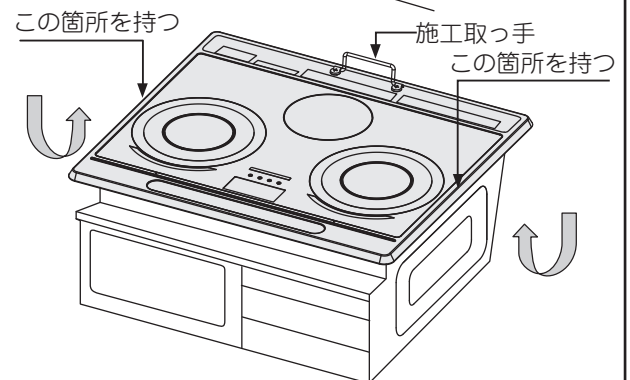
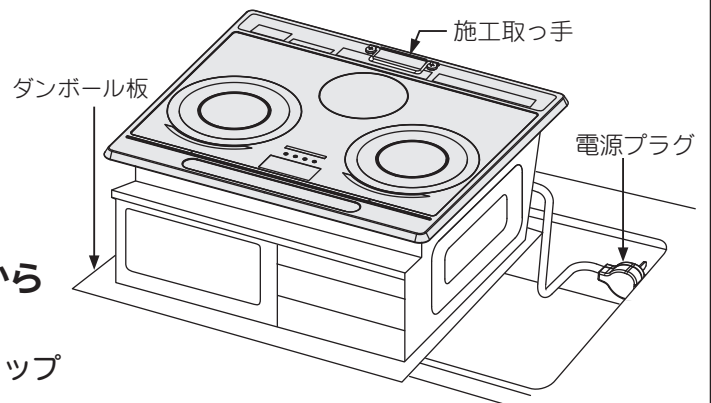
■本体の設置

1.電源プラグをコンセントに差し込む

- ワークトップに傷を付けないように梱包用ダンボール板などを敷いてください。

2.ワークトップに本体の前部を挿入してから全体をはめ込む

- 本体の左右を両手で持って、前部をワークトップ取り付け穴に挿入してください。
※はめ込み時、操作部のスイッチなどをワークトップに当てないでください。
- 本体後部の施工取っ手を持ちゆっくりと降ろしてください。トッププレート枠の角を持たないでください。
- 器具の前面がキャビネットと合うよう設置してください。



⚠ 注意



- 本体挿入時に電源コードをワークトップやキャビネットに挟み込まないように注意してください。
電源コードが損傷し、感電や火災の原因になります。
- ワークトップから本体が浮き上がっていないか確認してください。
煮汁が本体内に入り機器が故障する原因になります。

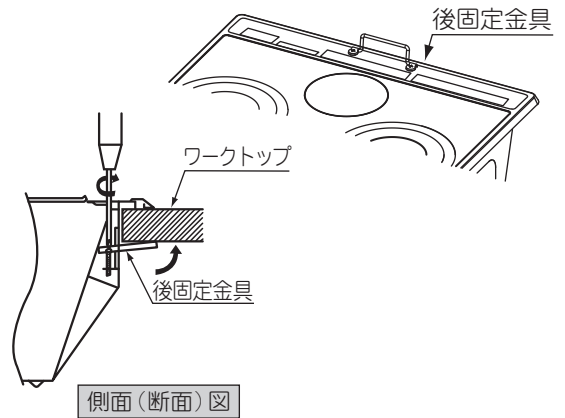
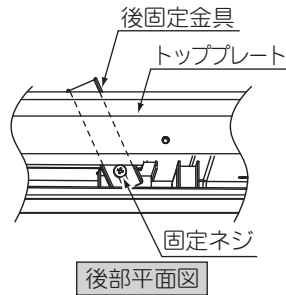
5 設置（つづき）

3. 後固定金具の固定

- 後固定金具のネジを締めつけて、ワークトップの裏面に固定してください。

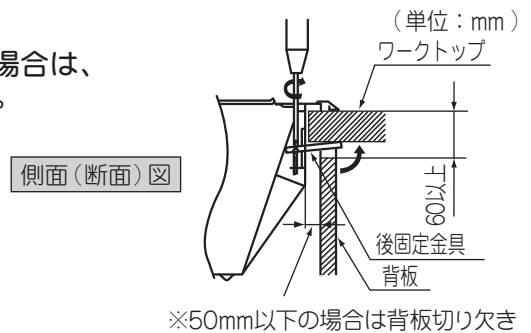
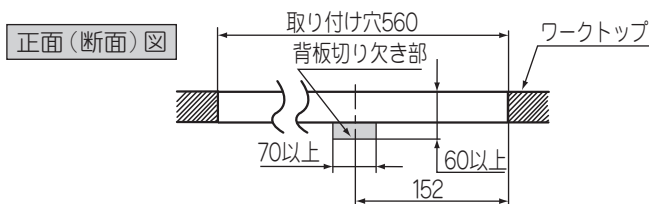
【ご注意】

後固定金具は本体が動かない程度に締めつけてください。
ネジを締めこみすぎると後固定金具が変形してワークトップから本体が浮き上がる原因となります。



システムキッチンの後方に背板がある場合

- 背板位置がワークトップの取り付け穴から50mm以下の場合は、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。



4. 前固定金具（2個）の取り付け

① 前固定金具の選択

- 前固定金具はキャビネット開口幅600mm用と570mm用の2種類あります。

※同この前固定金具はキャビネットの開口寸法に合わせて使用してください。

- キャビネット開口幅585mmの場合

※下記の組み合わせで前固定金具を取り付けてください。

| キャビネット開口幅 | 前固定金具（各1個） | |
|-----------|------------|--------|
| | 左側 | 右側 |
| 左側が広い場合 | 600mm用 | 570mm用 |
| 右側が広い場合 | 570mm用 | 600mm用 |

- 前固定金具はキャビネット側板に密着させる寸法のものを選んで取り付けてください。

② 前固定金具の仮止め

- 前固定金具を本体前板の上部角孔（左右）に差し込み同このネジで仮止めしてください。
- 左右同一手順で取り付けてください。

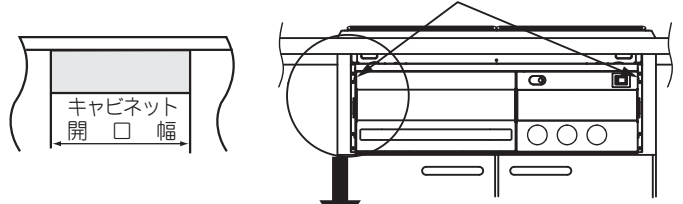
③ 本体の位置合わせ

- 同このサイドモールを取り付けて、本体が中央にあることを確認してください。

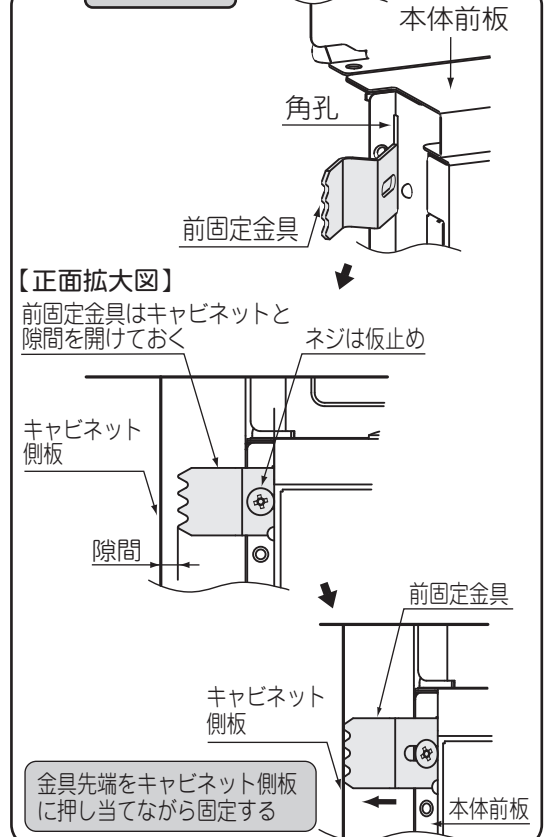
④ 前固定金具の固定

- サイドモールを一度取り外し、前固定金具を外側に出して、キャビネット側板に押し当てながら仮止めのネジ（左右）を締めて固定してください。

前固定金具取付位置



拡大図



⚠ 注意

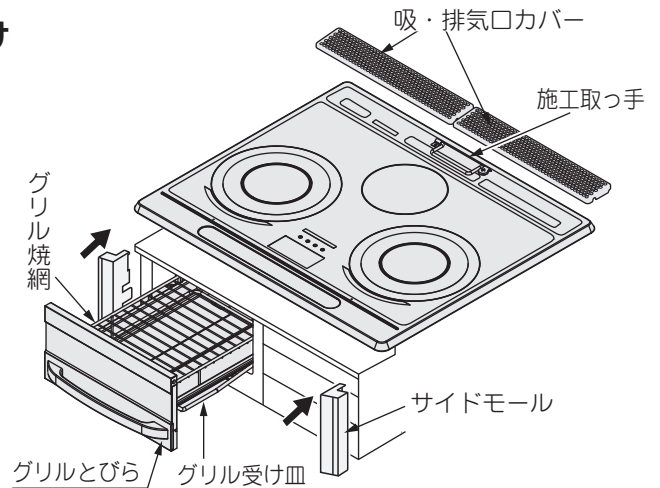


- 固定後、本体を押し動かさないことを確認してください。
- トッププレートが浮いていないことを確認してください。

5 設置（つづき）

5.同こん部品・付属品およびグリル部の取り付け

- 左右のサイドモールを取り付けてください。
 - 施工取っ手を手前にたおし、吸・排気口カバーを取り付けてください。
 - グリルとびら・グリル受け皿・グリル焼網を取り付けてください。
- ※グリル受け皿は庫内の底部に沿わせて、斜め上からはめ込んでください。

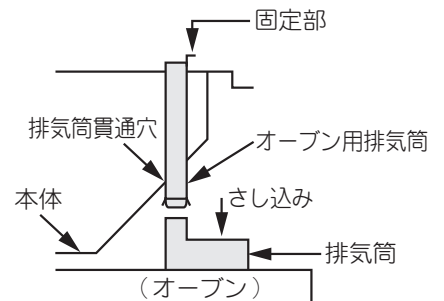


電気オーブンレンジと組み合わせる場合

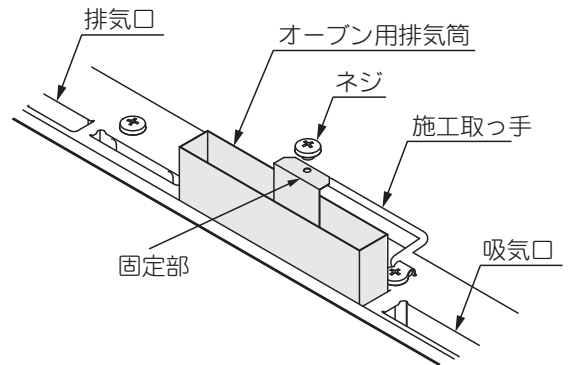
警告



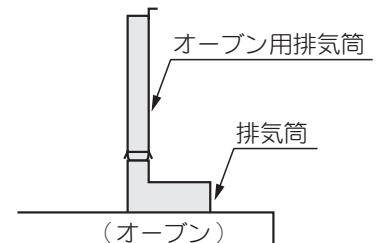
- このIHクッキングヒーターは、指定されたビルトイン型電気オーブンレンジと組み合わせて設置することができます。詳細は電気オーブンレンジの設置工事説明書をご覧ください。
- 指定された電気オーブンレンジ以外とは絶対にセットしないでください。異常過熱や火災の原因になります。



- 電気オーブンレンジに付属されているオープン用排気筒を吸・排気口カバー部より差し込み、オープンに固定されている排気筒に差し込んでください。
- オープン用排気筒は固定部が後側へくるようにして付属のネジ（1本）でオープン用排気筒を固定してください。



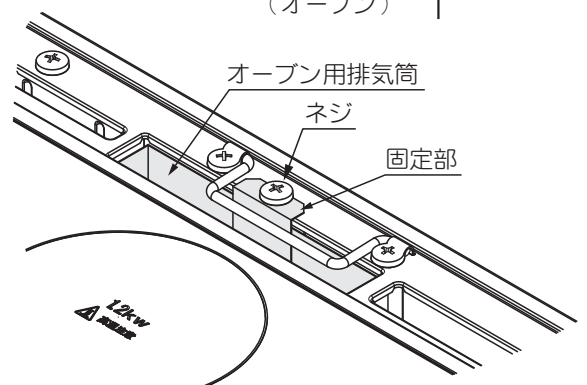
- ※オープン用排気筒を本体にネジ固定するとき、固定部が取付面から浮いている状態の場合は、オープンに固定されている排気筒とのセット嵌合が不十分です。再度、嵌合状態を確認してください。



注意



- オープン用排気筒の接続は確実に行ってください。機器の故障や火災の原因になります。



6 設置完了後の確認

■次の手順で確認し、チェック欄に印をしてください。

(注) 品番により試験運転の操作のしかたが異なります。詳しくは取扱説明書を参照してください。

| 確認事項 | | チェック |
|----------------|---|------|
| 電気工事 | <ul style="list-style-type: none"> ● 漏電ブレーカーの設置 ● 電源プラグの接続 | |
| 梱包材の取り外し | <ul style="list-style-type: none"> ● グリルとびら・グリル庫内に梱包材がないこと | |
| 同こん部品・付属品の取り付け | <ul style="list-style-type: none"> ● 吸・排気口カバー・グリルとびら・グリル受け皿・グリル焼網の取り付け ● サイドモールの取り付け ● 前固定金具の取り付け | |
| 外観 | <ul style="list-style-type: none"> ● トッププレートが浮いていないことを確認する | |
| 試験運転 | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源電圧が単相3線式200Vであることを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">天面表示が液晶タイプ</p> <p>※単相100Vでは、電源スイッチを入れて加熱動作をしたとき、右ヒーター表示部に 506 を表示します。</p> <p style="text-align: right;">単相200Vに接続しても ⇒ 表示が消えない場合は故障です。</p> <p style="text-align: center;">天面表示がLEDランプタイプ</p> <p>※右ヒーター火力表示ランプと各ヒーターの動作ランプが点滅している。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">点滅</div> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">(火力表示ランプ)</p> </div> | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源スイッチを「入」にする ⇒ 電源ランプが点灯する | |
| | <p>各ヒーターの動作チェックをする</p> <p>※IHヒーターはなべを置かないで操作をした場合、なべ無し自動OFF機能が働いて、約1分後に自動的に通電を停止します。</p> | |
| | <p>左右IHヒーターは「ヒーター調節つまみ」または「入/切」キーを操作して作動を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水を入れたなべを置いて、湯をわかす <p>※揚げ物キーで操作した場合、お湯の沸く時間が長くなりますが異常ではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 確認後は「ヒーター調節つまみ」を押し込む。または「入/切」キーを押して「切」にする | |
| | <p>ラジエントヒーターは「ヒーター調節つまみ」または「入/切」キーを操作して作動を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ラジエントヒーターが赤くなることを確認する ● 確認後は「ヒーター調節つまみ」を押し込む。または「入/切」キーを押して「切」にする | |
| | <p>グリルは「メニュー」キーおよび「入/切」キーを操作して作動を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グリルの中が赤くなることを確認する ● 確認後は、「入/切」キーを押して「切」にする | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源スイッチを「切」にする ⇒ 電源ランプが消灯する | |
| 外観仕上げ | <ul style="list-style-type: none"> ● トッププレートが汚れていないことを確認する | |

- 試験運転後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- 試験運転に付属の天ぷらなべを使用したときは、必ず水を捨て、さびを防止するためよくふいてください。
- 設置完了確認後、保証書に必要事項を記入のうえ、この「工事説明書」とともにお客様へ渡していただき、保管のお願いをしてください。

| | |
|--------------|--|
| 据付完了 確認者印 | |
|--------------|--|